

1	(1)	63	(2)	82	(3)	66	(4)	14
	(5)	19	(6)	12	(7)	3	(8)	13
	(9)	60	(10)	39	(11)	72 (cm)	(12)	50 <small>ぶん</small> (分)

2	(1)	14	cm	(2)	16	cm
---	-----	----	----	-----	----	----

3	(1)	6	こ	(2)	3	とおり
---	-----	---	---	-----	---	-----

4	(1)	4	本	(2)	48	m
---	-----	---	---	-----	----	---

5	(1)	24	(2)	10	<small>かい</small> 回
---	-----	----	-----	----	---------------------

1 (6) $48 = 60 - \square \rightarrow 60 - 48 = \underline{12}$

(7) $71 = \square + 68 \rightarrow 71 - 68 = \underline{3}$

(8) $44 + \square = 57 \rightarrow 57 - 44 = \underline{13}$

(9) $\square - 39 = 21 \rightarrow 21 + 39 = \underline{60}$

(10) $50 - \square - 7 = 4$

$50 - \square = 4 + 7 = 11$

$\square = 50 - 11 = \underline{39}$

(11) $2\text{ m } 2\text{ cm} - 1\text{ m } 30\text{ cm}$

$= 1\text{ m } 102\text{ cm} - 1\text{ m } 30\text{ cm} = \underline{72\text{ cm}}$

(12) 1時間は60分, 1分は60秒。

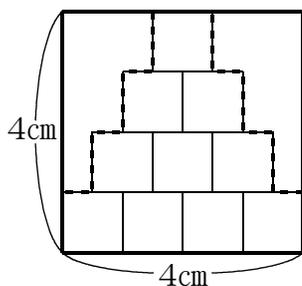
$600\text{ 秒} = 60\text{ 秒} \times 10\text{ 倍} = 10\text{ 分}$

$60\text{ 分} - 10\text{ 分} = \underline{50\text{ 分}}$

2 (1) たてが2 cm, よこが5 cmの長方形。

$2 + 2 + 5 + 5 = \underline{14\text{ (cm)}}$

(2) 右の図のように, まわりの長さが変わらないように動かすと, 1辺の長さが4 cmの正方形になる。



$4 + 4 + 4 + 4 = \underline{16\text{ (cm)}}$

3 (1) $100 + 100 + 100 = 300\text{ (円)}$

$660 - 300 = 360\text{ (円)}$

$360 = 60 + 60 + 60 + 60 + 60 + 60$

より, 買ったおかし①は6こ。

(2) おかし①→おかし②の順番で買うと考える。

おかし①を買ったあと, 残ったお金が100円単位であればよい。よって, おかし①だけの代金も, 100円単位の金額となる。

$60 + 60 + 60 + 60 + 60 = 300\text{ (円)}$

おかし①を5こ買うと300円。

$300 + 300 = 600\text{ (円)}$

$300 + 300 + 300 = 900\text{ (円)}$

このことから, おかし①の代金は300円, 600円, 900円の3とおり。

残った金額によりおかし②のこ数は自動的にきまるので, おかし②と①の買い方は3とおり。

4 (1) 赤, 黄, 青, 赤, 黄, 青, …のくり返し。

赤が5本で黄がさいごなので,

赤, 黄, 青, 赤, 黄, 青, 赤, 黄, 青, 赤, 黄, 青, 赤, 黄まで。

よって, 青は4本。

(2) $3 + 5 + 2 = 10\text{ (m)}$ …赤, 黄, 青1本ずつ

$10 + 10 + 10 + 10 = 40\text{ (m)}$

…赤, 黄, 青4本ずつ

よって, はしからはしまでの長さは,

$40 + 3 + 5 = \underline{48\text{ (m)}}$

5 (1) 分の部分は00~59なので, 使う数の合計がさい大になるのは59分のとき。

時間の部分は00~23で, 使う数の合計がさい大になるのは19時のとき。

よって, $1 + 9 + 5 + 9 = \underline{24}$

(2) 時間の部分が00のとき

分の部分は02, 11, 20の3回。

時間の部分が01, 10のとき

分の部分は01, 10の2回ずつ。

時間の部分が02, 11, 20のとき

分の部分は00の1回ずつ。

よって, $3 + 2 + 2 + 1 + 1 + 1 = \underline{10\text{ (回)}}$

(別解) 使う数のくみあわせは, 2000か, 1100。

よって, 20:00, 02:00, 00:20,

00:02, 11:00, 10:10,

10:01, 01:10, 01:01,

00:11の10回。